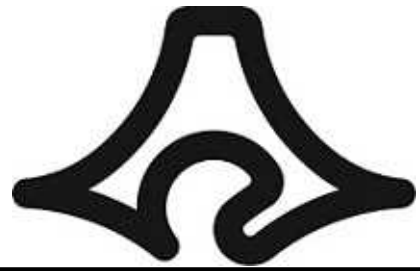


発表日 2024/09/09
タイトル 令和4年及び令和3年市町別「お達者年齢」を公表します
担当 健康福祉部 健康局健康政策課
連絡先 健康政策課健康企画班
TEL 054-221-2336



令和4年及び令和3年市町別「お達者年齢」を公表します

1 要旨

国及び国保中央会は、令和元年以降、都道府県別「0歳からの平均自立期間」を公表している（毎年7月頃）。一方、市区町村別の値については、算出はしているが、市町にお知らせするのみで、公表はしていない。
このたび、令和4年分（直近値）及び令和3年分の市町別「平均自立期間」の値を県で独自に把握しとりまとめたので、「お達者年齢」と呼称し公表を行う。
※ 昨年度までは、「お達者度（65歳からの平均自立期間）」を公表。

2 結果

(1) 県の結果

令和4年の県全体の「お達者年齢」は、男性80.1年、女性84.3年である。
令和3年の県全体の「お達者年齢」は、男性80.5年、女性84.7年である。

(2) 市町の結果

① 令和4年「お達者年齢」

「お達者年齢」が最も長い市町は、男性は菊川市で81.8年、女性は湖西市で86.5年であった。

<令和4年「お達者年齢」が長い市町トップ5位>

男性			女性		
順位	市町	お達者年齢(年)	順位	市町	お達者年齢(年)
1	菊川市	81.8	1	湖西市	86.5
2	湖西市	81.6	2	森町	85.7
3	川根本町	81.3	3	伊豆市	85.3
4	島田市	81.2	4	島田市	85.1
4	袋井市	81.2	4	小山町	85.1
—	—	—	4	牧之原市	85.1
	静岡県	80.1		静岡県	84.3

② 令和3年「お達者年齢」

「お達者年齢」が最も長い市町は、男性は菊川市で81.9年、女性は森町で87.0年であった。

<令和3年「平均自立期間」が長い市町トップ5位>

男性			女性		
順位	市町	お達者年齢(年)	順位	市町	お達者年齢(年)
1	菊川市	81.9	1	森町	87.0
2	湖西市	81.6	2	湖西市	86.4
3	袋井市	81.4	3	島田市	85.5
3	裾野市	81.4	4	藤枝市	85.4
5	磐田市	81.2	5	御殿場市	85.3
5	川根本町	81.2	—	—	—
	静岡県	80.5		静岡県	84.7

3 「お達者年齢」が長い市町の取組（R4 上位5市町）

市町名	R4順位	取組
菊川市	男性1位	出張健康相談事業「茶ちゃっと！出張健康チェック」、男性の料理教室、ご当地体操（きくがわ体操、菊川いきいき体操）の周知啓発、介護予防ボランティアの養成・育成・活動支援等を実施。
湖西市	男性2位 女性1位	『湖西市に元気な高齢者を増やす』を目指す姿とし、①社会参加促進、②フレイル予防、③認知症予防の3本柱で、高齢者の通いの場運営や栄養面・運動面・こころの面を意識した各種予防事業を展開。
森町	女性2位	平成27年度、男女共にお達者度第1位となったことを契機に、お達者度維持向上推進計画(H29～R3)を策定し、スローガン（お達者の笑顔あふれる町づくり）を掲げ、予防事業を展開。
川根本町	男性3位	各地区サロンの年間計画に介護予防事業を組み入れ、地域包括支援センターや健康福祉課が出向いている。住民全世代対象（認知症の方、要介護者を含む）のケアラズカフェを開催。
伊豆市	女性3位	すべての年齢層の市民を対象に「減塩（げ）・運動（ん）・禁煙（き）」の『げんきプロジェクト』を推進。幼児期から通じて食育を大切にしている。65歳以上の高齢者を対象としたロコトレ教室を開催。地域の通いの場の創出に尽力している。
島田市	男性4位 女性4位	TE・Aプロジェクト、幸せ未来のここカラダ講座、しまトレ推進事業、しまだ健幸マイレージ、健幸アンバサダー養成講座、健幸アンバサダーフォローアップ講座等を実施。
袋井市	男性4位	健康づくり推進員による市民の健康づくりへの主体的な取組、特定健診（国保）の受診率向上等を継続して行った。75歳以上のひとり暮らし高齢者訪問、事業所への出前健康教室等を実施。
小山町	女性4位	町の運動施設を活用し、InBody測定の数値をもとに効果的な運動の実践と継続をサポート。介護予防事業として、出張型健康相談「健康屋さん」、自主グループの支援等を実施。
牧之原市	女性4位	要介護状態予防のための筋力アップ教室を開催。運動機能低下や閉じこもり等の予防のために「通いの場」を増やし、運動の場を支援。専門職が通いの場や学校に出向き、健康教育を実施。

4 県の取組

- ・お達者年齢の延伸に向け、生活習慣病等の疾病予防・重症化予防対策事業を市町と連携し進めている。
- ・健康長寿の研究として、特定健診のデータ分析や結果の提供を行うとともに、特定健診、がん検診の受診率向上に取り組んでいる。
- ・通いの場を中心として地域活動への参加を促進することで、高齢者の介護予防、フレイル対策等を推進している。
- ・研修会等を通じて、市町の関係者に好事例や先進事例を紹介している。

5 「お達者度」の算定終了及び「お達者年齢(=平均自立期間)」の公表について

(1) お達者度の公表経緯

- ・市町別の健康寿命は、都道府県別と同じ方法による算出ができないことから、本県では、厚生労働研究班のガイドラインをもとに65歳からの平均自立期間を「お達者度」として、全国に先駆けて、平成24年度（平成21年分）を算出し公表した。
- ・以降、令和5年度（令和2年お達者度）まで、毎年敬老の日に合わせて公表を実施。

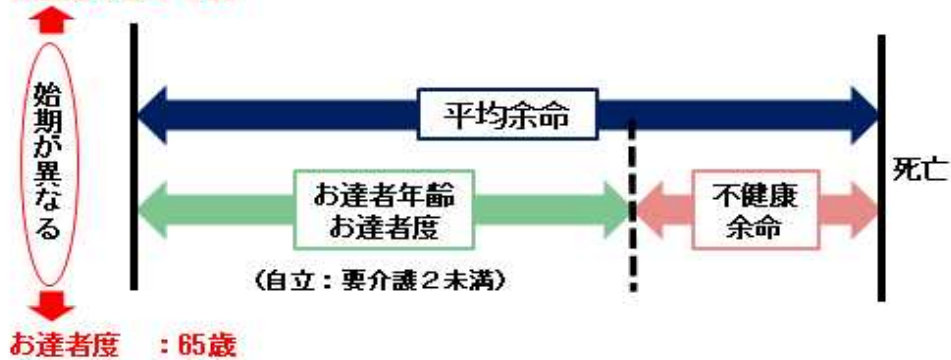
(2) 算定方法の変更理由

- ・全国的に、「平均自立期間」は、65歳を起点とする値よりも、0歳を起点とする値の方が一般的。
- ・令和元年度以降、厚生労働省が運営するKDB（国保データベース）システムを用いた、市町単位の平均自立期間（0歳起点）の算出が開始。
- ・第3期市町国保データヘルス計画策定ガイドライン（静岡県版）における市町計画の共通評価指標及び第4次健康増進計画において「平均自立期間」を指標として挙げている。
- ・有識者に「お達者度」を「平均自立期間(=お達者年齢)」に置き換えることの適否について検討を依頼し、細かい算定の基準はあるものの、本質的には介護保険データを用いた同じものを見た指標であるため、将来的には統一が望まれるとの助言があった。

(3) お達者度と平均自立期間（お達者年齢）の比較

区 分	お達者度	平均自立期間（＝お達者年齢）
数値の解釈	<ul style="list-style-type: none"> ・65歳の方が、あと何年、自立(要介護2未満)でいられるかの平均。 ・65歳未満で亡くなった人の情報を含まない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・0歳の方が、あと何年、自立(要介護2未満)でいられるかの平均。 ・65歳未満で亡くなった人の情報を含む。
使用データ	<ul style="list-style-type: none"> ・死亡数 ・人口(人口推計) ・要介護度2～5(確定給付統計) ・簡易生命表 ※3年分のデータを使用。 	<ul style="list-style-type: none"> ・死亡数 ・人口(住民基本台帳) ・要介護度2～5(介護受給者台帳) ・簡易生命表 ※人口13万人未満は3年分のデータ、人口13万人以上は単年データを使用。
算 出	・静岡県健康政策課	・KDBシステム(国保中央会が運用)
公表頻度	・毎年	・毎年
公表	<ul style="list-style-type: none"> ・県が算出し、県ホームページで、県及び県内35市町の値を一覧で公開。 ・県内の市町順位が確認できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国及び都道府県別の結果は国保中央会のホームページで公開。 ・都道府県より小さい単位での結果はKDBシステムで公開。市町は、自市町、県、国、同規模市町の値を確認可能。

お達者年齢：0歳



(参考1) 「健康寿命」、「お達者年齢」、「お達者度」の比較

項目	健康寿命	お達者年齢	お達者度
健康の定義	日常生活に制限がない(国民生活基礎調査)	要介護度2未満	要介護度2未満
基準年齢	0歳から	0歳から	65歳から
公表間隔	3年ごと R1をR3公表	1年ごと R4をR6公表	1年ごと R2をR5公表
市町別の算出	×	○	○

(参考2) 全国の平均寿命の変化(R3→R4)

- 全国の平均寿命は令和3年から4年の間に、人口当たり死亡数の増加により、男女ともに短縮している。
- 平均自立期間(お達者年齢)は、算出に全国の平均寿命の算出データを用いるため、平均寿命の変化の影響を受ける。

男 性			女 性		
令和4年	令和3年	変化	令和4年	令和3年	変化
81.05	81.47	▲0.42	87.09	87.57	▲0.49